

みずほCustomer Desk Report 2020/03/16 号 (As of 2020/03/13)

【昨日の市況概要】			公示仲値		105.05
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	104.68	1.1182	117.16	1.2569	0.6275
SYD-NY High	108.50	1.1222	120.30	1.2625	0.6326
SYD-NY Low	104.51	1.1055	116.99	1.2250	0.6122
NY 5:00 PM	108.03	1.1117	119.90	1.2290	0.6188
NY DOW	23,185.62	1,985.00	日本2年債	-0.200	2.00bp
NASDAQ	7,874.88	673.07	日本10年債	-0.010	5.00bp
S&P	2,711.02	230.38	米国2年債	0.5032	3.61bp
日経平均	17,431.05	▲ 1,128.58	米国5年債	0.7263	11.73bp
TOPIX	1,261.70	▲ 66.18	米国10年債	0.9781	16.83bp
シカゴ日経先物	17,285.00	225.00	独10年債	-0.5530	19.40bp
ロンドンFT	5,366.11	128.63	英10年債	0.4075	14.30bp
DAX	9,232.08	70.95	豪10年債	0.8925	16.30bp
ハンセン指数	24,032.91	▲ 276.16	USDJPY 1M Vol	16.86	▲ 3.88%
上海総合	2,887.43	▲ 36.06	USDJPY 3M Vol	13.30	▲ 2.98%
NY金	1,574.70	▲ 15.60	USDJPY 6M Vol	11.55	▲ 2.10%
WTI	31.00	▲ 0.50	USDJPY 1M 25RR	-8.30	Yen Call Over
CRB指数	140.84	▲ 1.10	EURJPY 3M Vol	12.82	▲ 2.54%
ドルインデックス	98.75	1.28	EURJPY 6M Vol	11.30	▲ 1.90%

東京	東京時間は104.68レベルでオープン。午前は日経平均株価指数が一時1,800円超の下げを記録するも、ドル円は強く、じりじりと105円台前半まで上昇。午後に入ると、日銀が追加で国債買い入れオペ実施を通知し、日経平均株価指数の下げ幅が縮小すると、ドル円は106.00まで急上昇。しかし前日の高値106.10が意識されると買いは一服。105円台半ばまで押し戻され、結局105.60レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.60レベルでオープン。新たな材料はなかったが株価が昨日の急落から大幅に反発する中でドル買いが終始続いた。一時107.50まで上昇し結局106.91レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2551レベルでオープン。昨日の下落の反動から朝方こそ1.2625まで買い戻されたが、その後の強まるドル高を背景に再びポンド売りに転じると1.2459まで下落し1.2520レベルでNYに渡った。週間の下落幅としてはブレクジット国民投票の2016年以来的水準となった模様。(ロンドン・トルリー00531 444 179 神田)
ニューヨーク	日銀の追加のオペなどで海外市場でサポートされたドル円は、米企業のドル買いの思惑や、米株先物が週末を控えてか、買い戻される展開に106.91レベルでNYオープン。朝方は円売りが強まったことからドル円は107.50まで急速に戻すも、その後は利益確定の売りから106.68まで反落する。10時に発表された3月ミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)は、調査期間が12/26~3/11であったことから、コロナウイルスの影響で前回から低下するとみられていた中、予想程悪化しなかったことやユーロドルが下落する動きに、ドル円は値を戻した。トランプ大統領が3時に記者会見をすると伝わり、国家非常事態を宣言するとの見方が強まる中、正午過ぎに108.00まで上昇した。午後は、トランプ大統領の記者会見で国家非常事態を宣言したほか、500億ドルの連邦政府予算をもって検査や治療体制の拡充、連邦学生ローンの金利支払免除、石油大規模購入で戦略備蓄の拡大に取り組むことを発表されたことから、過度なリスクオフムードが一時後退した。終盤にかけてダウ平均が1,985ドル上昇し、過去最大の上げ幅を記録し円売りが進む中、ドル円は108.03レベルでクローズ。一方、海外市場でドル買いが強まり、一時1.1140まで下落したユーロドルは、1.1155レベルでNYオープン。朝方はEUが財政刺激を可能にする危機案を賛成する用意があるとのヘッダーが伝わり、一旦買い戻される局面もあったが、スペインが非常事態宣言をし、上昇していた欧州株が反落する展開に、ユーロ売りが強まり、1.1055まで反落。その後、米金利の大幅上昇に圧迫され1.10レベル後半でもみ合う。終盤は株価につられて上昇したユーロ円にサポートされ、1.11台を回復し、1.1117レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 高根・上地 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

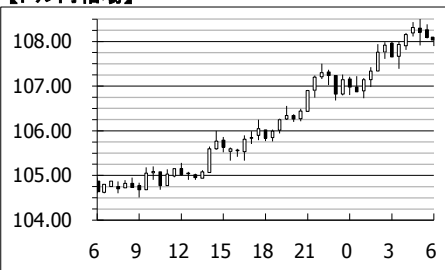
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月13日	16:00	独 CPI(前月比・前年比)・確報	2月 0.4%/1.7%	0.4%/1.7%
	16:45	仏 CPI(前月比・前年比)・確報	2月 0%/1.4%	0%/1.4%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	3月 95.9	95
3月16日	06:00	米 FOMC 政策金利	15-Mar 0.00-0.25%	-

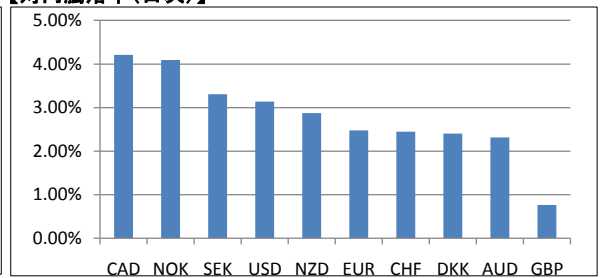
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月16日	11:00	中 小売売上高(年初来/前年比)	2月 -4.00%	-
3月16日	11:00	中 鉱工業生産(年初来/前年比)	2月 -3.00%	-
3月16日	11:00	中 固定資産投資(年初来/前年比)	2月 -2.00%	-
3月16日	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	3月 4.9	12.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 ロシアルーブルと原油価格

先週初、原油価格は暴落し1991年の湾岸戦争以来最大の下げ幅を記録した。新型コロナウイルスの流行による世界景気減速リスクが資源需要減の見通しをもたらした。原油価格を大きく押し下げている状況下、OPEC+会合では、追加減産に対するロシアの賛同が得られず合意なく協議が終了。サウジアラビアがシェア確保のため増産に転じる姿勢を見せ、サウジアラビアとロシアが価格戦争に突入したことが要因となった。その後ロシア側も、11日原油増産を警告し、反撃に出た。その一方で、3/18に予定されているOPEC+の専門委員会について、ロシアは産油国との対話を継続したい意向を示している。こうした原油価格の下落を受け、ロシアルーブルは売り優勢となり、12日には史上最安値を更新し、74RUB/USD台まで下落した。ロシアの石油産出量は世界第三位(2018)であり、ロシアの年間の輸出額の中で半分以上を燃料・エネルギー製品が占めている。このことから、ロシアルーブルと原油価格、特にブレント原油価格との相関が強いとされてきた。ここ数年においては、米国からの制裁やロシアの財政と原油価格の関係性を断ち切るための施策等により、ルーブルと原油価格の相関関係はやや薄まっていたが、その相関関係はここに至り復活している模様だ。ロシアは2014年のクリミア併合により欧米からの経済制裁を受けており、その結果、外資系企業はロシアへの投資を行う際のファイナンスに支障があるため、ロシアでは海外からの直接投資が低迷している状況が続いてきた。これに加え、国内の設備投資においても国家プロジェクト実行の遅延などの影響もあり、景気の下振れリスクは燃える状況。こうした状況下において原油価格が落ち着きを見せたとしても、当面の間ロシアルーブルには下押し圧力がかかる可能性がある。(高根)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	フル	ベア	ベア	フル	ベア	ベア	フル	フル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
フル	フル	ベア	ベア	フル	フル	ベア	ベア	ベア	ベア

フル	ベア
8	12